



TV26 キャブレターキット 取扱説明書

(右出しタイプ)

商品番号 : 03-05-0561 (キャブレターキット)
適応車種 : モンキー/ゴリラ/モンキーBAJA
フレーム番号: Z50J-1300017~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。又、商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当キャブレターキットは当社製ボアアップキット、ボアストロークアップキット専用用品です。ノーマルエンジンには対応できません。

この製品を取り付けるには、ハイスロットルキットが必要となりますので、別途お買い求め下さい。

当製品取り付け後は、ノーマルマフラー、ノーマルエアークリーナーの取り付けは出来ません。

キット内のキャブレターは、ミクニ製VM26と同じ物ではありません。構成部品が異なりますのでご注意ください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

⚠ 注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ボルト、タップ部の破損および脱落の原因となります。)
- ・作業は、必ずエンジンおよびマフラーの冷間時(35以下)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品やフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護し、注意して行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を確認し、緩み等が無いが確認して下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ・エンジンの回転中は、キャブレター吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(吹き返しによるガソリンや、バックファイヤーにより火炎が噴出することがあり、大変危険です)

⚠ 警告 下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。(車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

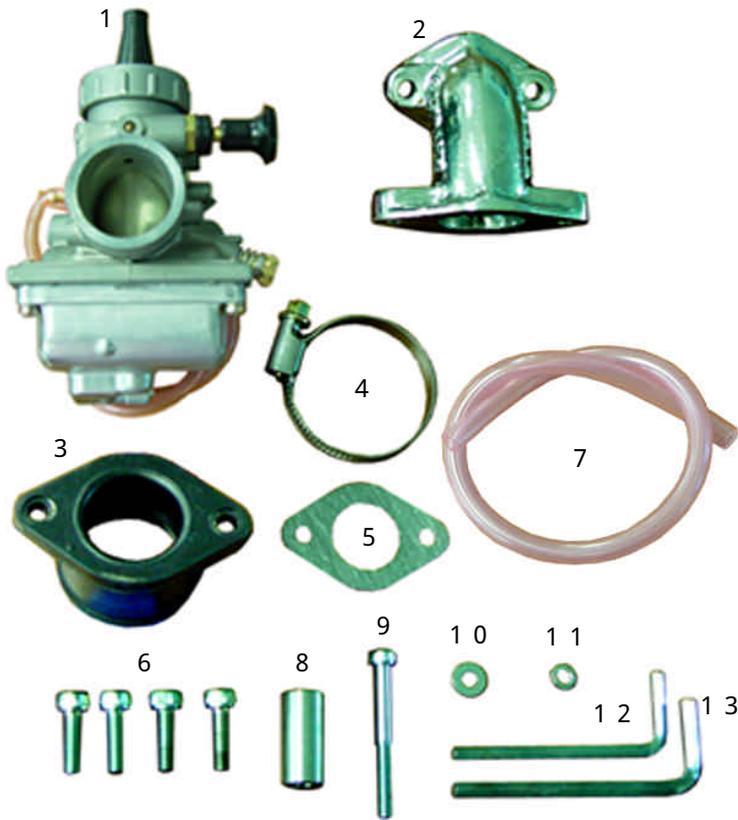
キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを必ず行って下さい。

当キャブレターキットには、エアーフィルター等は付属しておりません(ノーマルエアークリーナーの取り付けも出来ません)ので、エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行はなさらないで下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

当キャブレターキットの使用には、ハイスロットルSET(09-02-021)または(09-02-02)が必要です。

当社製エアーフィルターの取り付けは出来ません。カールファンネル(03-01-040)(03-01-041) ネット付削り出しファンネル(03-01-060)(03-01-061)が取り付け出来ます。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部品名	個数
1	キャブレター A S S Y .	1
2	インレットパイプ	1
3	インシュレーター	1
4	クランプバンド	1
5	インレットパイプ ガasket	1
6	キャップスクリュー 6 x 2 0	4
7	フューエルホース 3 5 0 mm	1
8	イグニッションコイルカラー	1
9	キャップスクリュー 5 x 5 0	1
1 0	プレーンワッシャ 5 mm	1
1 1	スプリングワッシャ 5 mm	1
1 2	六角棒レンチ 4 mm	1
1 3	六角棒レンチ 5 mm	1

出荷時キャブレター状態

メインジェット	# 1 9 0
パイロットジェット	# 2 2 . 5
ジェットニードル	5 E 7 5
クリップポジション	3 段目
スロットルバルブカッターウエイ	# 1 . 5
エアースクリューオープニング	1 回 転 戻 し

[セッティングパーツ]

メインジェット (ミクニVM26用)

1 0 0、# 1 0 5、# 1 1 0、# 1 1 5、# 1 2 0、# 1 2 5、# 1 3 0、# 1 3 5、# 1 4 0、# 1 4 5、# 1 5 0、# 1 5 5、
1 6 0、# 1 6 5、# 1 7 0、# 1 7 5、# 1 8 0、# 1 8 5、# 1 9 0、# 1 9 5、# 2 0 0、# 2 1 0、# 2 2 0、# 2 3 0、
2 4 0、# 2 5 0、# 2 6 0

パイロットジェット (ミクニVM24F用)

1 0、# 1 2 . 5、# 1 5、# 1 7 . 5、# 2 0、# 2 2 . 5、# 2 5、# 2 7 . 5、# 3 0

～取 り 付 け 要 領～

SET内容を、御確認下さい。

(取り付け準備)

△注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!
車両を安定させる事!!

1. 車両を安定させた状態でフューエルコックを閉じてキャブレターのドレンコックを開き、フロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。
2. フューエルチューブ、トップカバーを外します。
3. スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、トップカバーも抜き取ります。
4. 現在付いているキャブレターをインレットパイプごと取り外します。インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。

ゴリラ(全車種)に取り付ける場合、取り付け作業の前にガソリンタンクのガソリンを全て別の容器に移し替えて下さい。

(取り付け)

△注意：トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事!!

1. シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケットを挟み、インレットパイプを6×2.0のソケットキャップスクリューで締め付けます。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)
2. インレットパイプにインシュレーターをソケットキャップスクリュー2本を用いて締付けます。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)
3. キットのキャブレターのトップカバーを外して、スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。スロットルケーブルのインナーケーブルをキャブレターのトップカバーから通し、さらにスプリングを通して、スプリングを縮めながらスロットルバルブに取付けます。スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



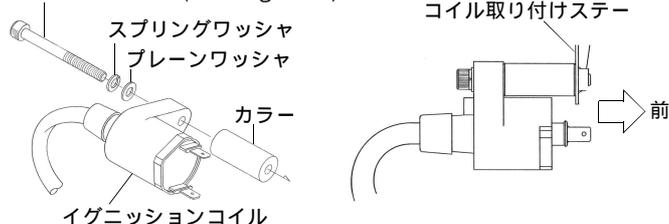
4. キャブレターをインシュレーターに差し込み、クランプバンドで締め付けます。

フレームのエアークリーナーケース取り付け部分のステーをキャブレターが干渉しない程度に曲げて下さい。
(12V車はアースターミナルを締め付け後曲げて下さい。)

12V車両の場合、イグニッションコイルとキャブレターが干渉する為、付属のイグニッションコイルカラーを用いてコイルの位置を変更して下さい。(図参照)

キャップスクリュー

トルク：6 N・m(0.6 kgf・m)



5. スロットルグリップ部で5 mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。



スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右いっぱいにした状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

ゴリラ(全車種)に取り付ける場合、ここで元のフューエルコックと付属のフューエルコックを交換します。フューエルコックの方向を決めて、ナット部分をフューエルタンクに締め付けて下さい。
トルク：5 ~ 6 N・m(0.5 ~ 0.6 kgf・m)

6. フューエルチューブを差し込み、チューブクリップで止めます。フューエルコックを開き各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)
7. チョークレバーを引きエンジンを始動させます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。
8. 安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東3丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>